

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月7日更新

事務事業名		外国人登録事務協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名	財津 幸泰
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市民課	担当者名	小山 可愛
	基本事業	86	市民サービスの向上			所属班	市民窓口班	(内線)	1118
予算科目		会計一般	款2	項3	目1	事業連番11087	法令根拠	外国人登録事務協議会事務規則	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・外国人登録及びこれに関連する法令の調査研究・外国人登録事務に関する連絡・研修会の開催及び会員の表彰・外国人登録事務に関係する市町村の連携強化
【業務の流れ】	①負担金の納入②協議会、研修会への参加③文書、資料の作成。
【主な予算費目】	①旅費(特別旅費)②需用費(消耗品)③負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO) 外国人登録事務に関する研修に参加し知識を習得した。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 外国人登録事務に関する研修を行うことにより、知識を習得し事務の向上を図る。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア: 総会、研修会の回数 イ: 相互の連携回数	(単位) 回 予算の主な増減の理由 法改正に伴う外国人登録事務研修廃止による旅費等の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 熊本県内の外国人登録事務に関係する市町村長と職員。	(単位) 人 ② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア: 会員数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 事務の改善と会員相互の連携を強化する。・外国人登録制度や実務に関する幅広い知識を身につける。	(単位) % ③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア: 知識を身につけた職員の割合 イ:
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 外国人登録制度や実務に関する幅広い知識を身につけることにより、事務及び市民サービス向上につながる。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア	回	4	2	1	1	1	1	1	
	イ	件	1	1	5	1	5	5	5	
	ア	人	96	48	48	48	48	48	48	
② 対象指標	イ									
	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
③ 成果指標	イ									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	54	37	24	6	6	24	24
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
人件費	(A) 事業費計	千円	54	37	24	6	6	24	24	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	6	6	6	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	6	3	3	3	3	3	3	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	87	30	30	60	30	30	30	
	(B)人件費計	千円	348	119	119	247	123	123	123	
トータルコスト(A)+(B)		千円	402	156	143	253	129	147	147	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	外国人登録事務協議会参画事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 外国人登録事務に必要な情報の収集、意見交換、協議をすることにより、職員の外国人登録事務についての資質の向上につながることで、目標が達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・事務処理向上に役立っている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・法定受託事務の資質向上のためであり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・法定受託事務の事務処理向上のためであり必要な事業であり削減はできない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・法定受託事務の事務処理向上のためであり縮小することはできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・適正な職員が研修をすることで、適正な登録事務が行なえ公正・公平である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・法定受託事務の事務処理向上のためであり、移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・法定受託事務の事務処理向上に繋がった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						